

アメリカ大都市の死と生

THE DEATH
AND LIFE
OF GREAT
AMERICAN
CITIES
Jane Jacobs

第Ⅰ部 都市の独特の性質

第2章 歩道の使い道—治安

第3章 歩道の使い道—ふれあい

第4章 歩道の使い道—子供たちをとけこませる

第5章 近隣公園の使い道

第6章 都市近隣の使い道

第Ⅱ部 都市の多様性の条件

第Ⅲ部 衰退と再生をもたらす力

第Ⅳ部 ちがった方策

子供たちを取り巻く環境

住宅プロジェクト

- 遊技場・グラウンド・公園

→ 退屈



大人たちの目が行き届きにくくなる



危険に巻き込まれやすい



「スラム」街

- 古い街路・歩道

→ 多様性・面白さ



無数の大人たちの目がある



危険を回避できる

人の目があり安全かどうか

需要と供給のズレ

地域住民

- 歩道や街路で遊ばせたい
- 多くに人の目の届くところに居させたい

子供たち

- 多様性のある歩道で遊びたい
- 歩道は車道のために犠牲になる

田園都市計画者

- 公園や競技場で遊ばせたい
- 街路や歩道をコミュニティの場にしたくない



建物が街区内に向かって開かれている



歩道の安全と引き換えに人口の中で特化した人々に対しての安全を確保



疑問

地域住民と田園都市計画者の考え方がこんなにも違うにも関わらず、なぜこんなにも、住宅プロジェクトが賞賛されているのか。